

登録コード	SE404200	開講年度	2026						
授業題目	生態学 II				担当教員	高橋 耕一			
英文授業名	Ecology II				副担当				
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	火曜・2 時限		対象学年	2年	
講義室	理学部第8講義室			授業形態	講義	遠隔授業科目		備考	必修
信大コンピテンシー 非該当									
(1)授業の達成目標		授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】			
		2 6 Sカリ, 2 5 Sカリ, 2 4 Sカリ, 2 3 Sカリ							
		【2023年度以降加付対象】理学の各分野における専門知識				生態学の知識や理論をとおして, 自然の生態系の成り立ちを理解できるようになること.			
		【2023年度以降加付対象】専門知識や観察・実験などによって問題を理解・解決し、その成果を的確に他者に伝える力				生態学の知識や理論をとおして, 自然の生態系の成り立ちを他者に伝えられるようになること.			
(2)授業で学べる「テーマ」		その他							
(3)全学横断特別教育プログラム									
(4)授業の概要		個体群, 個体間の相互作用, 群集, 生態系などについて講義を行う.							
(5)授業のキーワード		個体群, 種間相互作用, 群集, 生態系							
(6)授業計画		1. 個体群動態 1 2. 個体群動態 2 3. 個体群の成長 1 4. 個体群の成長 2 5. 捕食 1 6. 捕食 2 7. 寄生 1 8. 寄生 2 9. 競争 1 10. 競争 2 11. 共生 1 12. 共生 2 13. 群集 1 14. 群集 2 15. まとめ, 授業アンケート							
(7)成績評価の方法		授業ごとの予習課題と小テスト, 期末試験で次のように 5 段階の評価する. 成績評価の区分は秀 (90-100点), 優 (80-89点), 良 (70-79点), 可 (60-69点), 不可 (59点以下) である.							
(8)成績評価の基準		以下の評価基準を基本とする。 秀: 授業の達成目標の水準からみて卓越している。 優: 授業の達成目標の水準よりかなり上にある。 良: 授業の達成目標の水準よりやや上にある。 可: 授業の達成目標の水準にある。							
(9)事前事後学習の内容		授業ごとに予習の指示を行う. 毎回の講義の最初に前週の内容の小テストを行うので, 復讐をしておくこと.							
(10)履修上の注意		関連する書籍を読み, 積極的に知識を身につけること. 授業の進行状況に応じて, 授業計画の変更がある場合, その都度, 連絡する.							
(11)質問, 相談への対応		随時, 受け付ける.							
【教科書】		特に指定しない.							
【参考書】		Ecology. Bowman WD, Hacker SD 著. Sinauer. 生態学. 堀道夫 監訳. 京都大学出版会.							